

テーマ:

# 全校のみんなを「凜々子」のお菓いで 笑顔にしたい

北海道  
札幌市立  
手稲東小学校  
国安 秀樹先生  
鈴木 智法先生 北本 涼子先生



## この活動の特徴



### 「凜々子」活用のポイント①

「凜々子」のお菓子を食べた  
みんなに喜んでもらったことで、  
「誰かの役に立つこと」の意味を知った

### 「凜々子」活用のポイント②

近隣のパティシエやシェフの方から  
「プロの技」と「働き方」を教わった

## 活動のねらい



- 野菜を育てることの苦勞と楽しさを知り、観察で理科学習、肥料や水の量をはかることで算数の学習に関連づける
- 育てた「凜々子」のお菓子を配布することで働くことの楽しさを学ぶ

## 活動の概要と流れ

対象学年 : 2～6年生 特別支援学級 (11名)  
実践期間 : 4～12月

時期	学習活動
4月中旬	・温室、畑の土作り
5月中旬	・凜々子の定植 世話、観察を始める
6月	・算数の授業で、畑の面積を計算する
7～9月	・順次収穫し、冷凍保存
8月下旬	・廊下の掲示物に、収穫した凜々子の数のシールを貼る
9月中旬	・お菓子配布時に放映するため、パティシエの方が凜々子を使ったジャムを作る様子を撮影
10月上旬	・「凜々子ジャムパイ」をパティシエの方に作ってもらい、全学級に配布
12月中旬	・収穫した凜々子をトマトピューレに加工 ・近隣のシェフの方に凜々子を使った料理を教わる



## ここがポイント！ 取組の工夫と実践の成果

### 「凜々子」のお菓子でみんなを笑顔にしたい

「すみれ学級」という手稲東小学校の特別支援学級には知的障がいや情緒障がいの11名の児童が在籍している。

毎年、作業学習として取り組んでいる畑作業で、今年は「凜々子」を栽培し、収穫した「凜々子」を地域のケーキショップの協力を得て、お菓子を全校児童に配布するという目標を持った活動を通して、「働くことの楽しさを学ばせたい」と考え、学級みんなで取り組んだ。

### 近隣ケーキショップ・レストランとのコラボレーション

すみれ学級では2,600個の「凜々子」を収穫することができた。

栽培中、「凜々子」の育成記録や収穫数などを教室前の廊下に掲示し、全校児童に知らせた。また、全校児童や地域の方に「凜々子」栽培活動について、PTAの協力を得てお菓子を作り、配布することで具体的に表現した。

近隣のケーキショップ「パティスリーYOSHI」さんに協力いただき、「凜々子」を使ったジャムパイを作っていただいた。全校児童56名、各家庭、学校職員の合計1,063個のパイにオリジナルステッカーを自分たちで貼り、配布した。

また、近隣のレストラン「ピ

ストロ・ブルータス」さんに協力いただき、冷凍保存しておいた「凜々子」を使い、「トマトパスタ」と「トマトグラタン」を作る調理実習を行った。「凜々子」栽培でお世話になった学校職員を招いて、会食会を開いた。

一生懸命栽培し、収穫した「凜々子」のお菓子や、シェフを招いての調理実習を通して、自分たちが育てた「凜々子」がどのように活かされたのかを児童たちは具体的に理解することができた。

また、社会で働く人とかかわりを持つことで、将来の職業生活に対して積極的な気持ちをもつことができ、「働くことは、誰かの役に立つ」ということを実感した。

### 先生から一言！ 実践を通して

すみれ学級に在籍している子どもたちの、障がいの程度や発達の様子は多種多様ですが、子どもたちが主体的に、「人やもの」と関わりながら夢中になって取り組むことや、自分のよさを活かして、自らが可能性を広げていくことを目指した「働く活力」を中心とした生活単元学習の取り組みを行ってきました。特に今年は「凜々子」栽培での作業学習を年間を通して実践してきました。

今年度の働く活動を通して身につけた「生活する力」は子どもたちの将来の自立に確実に繋がると

思います。「社会的自立」「社会参加」は、障がいの重い子どもであっても、長期的な目標であり、保護者の希望でもあります。

畑作業は、障がいの程度の重い子どもにとっては、不向きな作業と私は考えていましたが、「凜々子」の栽培は、担任も子どもたちも取り組みに夢中になることで、学級すべての子どもたちに達成感を与えてくれました。これは、送られてきた苗の本数が、作業学習として取り組むのにふさわしい数であり、また収穫量が多いので、収穫した「凜々子」を使つての取り組みを、地域との連携にまで広げて実践することができたからだと思っています。

「凜々子」はその名のように、完熟したトマトの色がとても鮮やかで個体差が少ないことに驚きました。また、苗の丈夫さと育てやすさを実感しました。

私は今年度(平成27年度)で退職となります。子どもたちと取り組んできた畑作業も今年で最後となりますが、若い先生たちが作業の技術をさらに高め、子どもたちに野菜作りの楽しさを広げてくれることと思います。

札幌市立手稲東小学校  
教諭 国安 秀樹

### 授賞理由



“働くことの楽しさを学ばせたい”という先生の思いを受け、2,600個も「凜々子」を育て、それを使った地域のケーキショップとのコラボ商品を開発し配布したことは、周囲を巻き込みながら、みんなを幸せにするとても素敵な活動でした。